第５章　高齢福祉

1　高齢者人口・生活態様別統計

(1)　高齢者人口（令和4年4月1日現在）

区分＼年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
総人口（人）	159,246	157,861	156,301
65歳以上人口（人）	49,554	49,927	50,237
高齢化率（%）	31.12	31.63	32.14

(2)　高齢者生活態様（6～7月高齢者実態調査結果）

高齢者人口		人数(人)	比率(%)
総　数		50,237	100.00
内訳	独　居	6,353	12.65
	高齢者世帯※	11,556	23.00
	その他	32,328	64.35

※65歳以上のみで構成される世帯

2　敬老祝賀事業

9月1日(基準日)において本市に引き続き1年以上居住し、当該年度に85歳、100歳、101歳以上の誕生日を迎える高齢者の方に対し、長寿を祝して敬老の日に合わせ敬老祝金及び記念品を贈呈した。

区　分	支給額(円)	対象人数(人)
85歳	10,000	1,229
100歳	100,000	56
101歳以上	記念品	68

3　敬老会事業

敬老会事業を実施した自治会等に対し、その地域に在住の 80 歳以上の高齢者数に1,000円を乗じた額の補助金を交付した。

・補助金交付団体数・補助額

	令和２年度	令和3年度	令和4年度
交付団体数（自治会等）	366	398	400
補助額（円）	14,184,000	14,771,000	15,000,000

4　栃木市シルバー作品展事業

高齢者の生きがいづくり、健康寿命の延伸を目的に、市内在住で65歳以上の方を対象とした作品展を開催した。

・出品数　　70作品

・開催日　　2月14日、16日　計2日間
・来場者数　122人

5　とちぎ蔵の街シニアクラブ活動支援事業

とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、健康づくり活動等の充実のため支援を行った。

・クラブ数・会員数・補助額

	令和２年度	令和３年度	令和４年度
単位老人クラブ数（クラブ）	140	131	121
とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会会員数（人）	5,093	4,740	4,211
老人クラブ活動助成補助金（円）	6,380,000	5,858,000	5,443,000
とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会活動促進補助金（円）	8,621,000	6,601,000	7,321,000

6　高齢者ふれあい相談員事業

在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯に対し、家庭訪問を通して、時の話題を提供しながら、安否の確認、相談業務等を行った。

・相談員数・訪問世帯数

	令和２年度	令和３年度	令和4年度
相談員数（人）	918	925	965
訪問世帯数（世帯）	8,792	9,388	9,621

7　養護老人ホームへの措置　（単位：人）

区　　分	令和4年4月1日現在人数	令和4年度中		令和5年3月31日現在人数
		入　所	退　所	
養護老人ホーム	63	6	10	59

8　日常生活用具購入費助成等事業

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の便宜を図るため、日常生活用具の購入費助成を行った。

・日常生活用具購入費助成状況　（単位：件）

品　　目	令和２年度	令和3年度	令和4年度
老人福祉車	202	169	188
小型暖房器具	16	17	12
電磁調理器	－	1	3
火災警報器	1	－	2
自動消火器	－	－	－

9　日常生活用具レンタル料助成事業

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の便宜を図るため、日常生活用具のレンタル料の一部を助成した。

・日常生活用具レンタル料助成申請状況　（単位：件）

品　　目	令和２年度	令和3年度	令和4年度
電動小型吸引機	18	17	21
特殊寝台	3	3	6
じょく瘡予防用具	2	1	4

10　緊急通報装置設置事業

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

・設置状況　（単位：台）

既設置台数	設置台数	撤去台数	計
222	16	52	186

11　福祉電話貸与事業

おおむね65歳以上の低所得のひとり暮らし高齢者への通報用電話の貸与を継続した。

・設置状況　（単位:台）

既設置台数	撤去台数	計
3	－	3

12　在宅ねたきり老人等介護手当支給事業

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5のいずれかに認定された高齢者と同居し、常時介護している方に対し、介護者の慰労及び在宅福祉の向上を目的として、月額3,000円の介護手当を支給した。

・在宅ねたきり老人等介護手当支給者数（延べ人数）　（単位：人）

	令和２年度	令和3年度	令和4年度
上半期	994	967	832
下半期	1,011	919	840
合計	2,005	1,886	1672

13　紙おむつ給付事業

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5のいずれかに認定された方で、日常生活において常時紙おむつを使用している方に対し、紙おむつを給付（注文額のうち月額3,500円までを市が負担）した。

・申請者数・受給者数　（単位：人）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度

申請者数	1,551	1,607	1,587
受給者数	1,274	1,248	1,300

14　在宅高齢者短期入所事業

介護予防や生活支援の必要な在宅のひとり暮らし高齢者等に、在宅生活での自立を目的とした事業を実施した。

・利用者数・延べ宿泊数

	令和２年度	令和3年度	令和4年度
利用者数（人）	7	11	1
延べ宿泊数（泊）	168	233	48

15　健康はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧施術料助成事業

高齢者の健康保持や健康寿命延伸を目的に、はり、きゅう、あん摩マッサージ指圧施術料助成券を配付し、施術料の一部について助成した。

・事業対象者　市内在住で満 75 歳以上の方

・助成券概要　2 か月に 1 枚の割合で交付（最大 6 枚綴）、1 枚につき 800 円の助成

・配付・利用実績

	令和２年度	令和3年度	令和4年度
配布数（冊）	503	450	444
利用枚数（枚）	998	1,075	1,038

16　老人福祉センター長寿園

(1)　利用状況

・年度別利用者数　(単位：人)

年度	令和２年度	令和3年度	令和4年度
長寿園利用者	8,661	13,570	17,993

・開館日数　297日

・1 日平均入場者数　60.6 人　6 月 15 日（水）、9 月 19 日（月）無料開放日：122 人

・月別内訳

区分／月別	市内		市外	身障者等	回数券利用			減免利用	団体割引	計	利用料	開館日数
	60歳以上（人）	一般（人）	（人）	（人）	60歳以上（人）	一般（人）	市外（人）	（人）	（人）	（人）	（円）	（日）
4	321	17	－	254	598	－	1	126	－	1,331	87,500	25
5	300	22	－	245	568	－	1	152	－	1,288	77,400	25
6	336	31	1	262	598	－	1	219	－	1,449	104,100	25
7	411	43	－	284	667	－	－	163	－	1,575	98,700	26
8	392	43	－	247	553	－	1	139	－	1,382	109,800	26
9	322	32	－	231	498	－	1	173	－	1,262	85,600	23

10	490	38	1	264	727	11	－	131	－	1,665	130,900	26
11	446	19	1	247	751	20	2	113	－	1,605	118,700	25
12	482	34	1	282	755	23	1	136	－	1,720	135,300	26
1	390	21	4	235	680	20	1	113	－	1,464	112,400	23
2	447	31	6	233	656	19	－	112	－	1,504	117,700	22
3	460	25	3	273	825	17	1	144		1,748	141,900	25
計	4,797	356	17	3,057	7,876	110	10	1,721	－	17,993	1,320,000	297

(2)　事業実施状況

ア　機能回復訓練

老化防止、健康の保持増進を目的としたマッサージ施術については、新型コロナウイルス感染対策のため、器具及びヘルストロンの活用においては、令和元年東日本台風による水害で全て故障し、実施を見合わせた。

イ　健康相談及び衛生教育

看護師を招いての、高齢者の健康保持に関する相談や、血圧測定、日常生活に関する指導、看護と療養指導、器具による運動訓練などの衛生教育と健康づくり指導については、新型コロナウイルス感染対策のため、実施を見合わせたが、健康に関する相談については職員が対応し、情報提供を行った。

・延べ人員　10 人
・実施回数　10 回
・実施日　　随時

ウ　包括的な相談

高齢者の介護に関する相談や身の回りに関する情報提供を行った。

・延べ人員　9 人
・実施回数　8 回
・実施日　　随時

エ　機能改善トレーニング教室

・延べ人員　52 人
・実施回数　3 回

オ　若返り体操教室

・延べ人員　50 人
・実施回数　3 回

カ　ヨガ教室

・延べ人員　61 人
・実施回数　3 回

キ　筋力アップ体操教室

・延べ人員　145 人
・実施回数　8 回

ク　高齢者のクラブ活動

高齢者の生涯学習活動の一環として、17 のクラブ活動を支援した。

講座名	会員数(人)	実施回数(回)	延べ人員(人)
陶芸 (5クラブ)	51	169	895
ダンス(5クラブ)	60	－	－
カラオケ	19	－	－
絵画	6	22	54
将棋	27	－	－
太極拳	19	33	573
料理クラブ	29	－	－
気功体操	28	－	－
短歌	8	11	82
合　　計	247	235	1,604

17　老人福祉センター泉寿園

(1)　利用状況　　(単位：人)

年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
泉寿園利用者	9,198	13,209	17,858

・年度別利用者数

・開館日数　300日

・1日平均入場者数　　59.5人

・月別内訳

区分 / 月別	市内		市外	身障者等	回数券利用			減免利用	団体割引	計	利用料	開館日数
	60歳以上	一般			60歳以上	一般	市外					
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(円)	(日)
4	313	19	1	221	646	9	－	143	－	1,352	87,400	26
5	309	17	－	233	629	6	－	138	－	1,322	96,300	25
6	383	13	1	239	723	3	－	136	－	1,498	95,400	25
7	335	9	1	244	783	2	－	123	－	1,497	104,600	26
8	311	10	2	206	719	1	－	100	－	1,349	87,700	26
9	392	8	1	202	715	－	－	109	－	1,427	103,900	24
10	406	11	－	214	831	－	－	104	－	1,566	122,800	27
11	371	12	－	216	793	1	－	162	－	1,555	104,500	24
12	400	17	－	235	868	4	－	137	－	1,661	135,400	27
1	349	24	－	238	810	－	－	135	－	1,556	102,700	23
2	323	24	－	210	776	－	－	111	－	1,444	111,100	22
3	345	13	1	238	802	4	－	132	－	1,535	110,400	25
計	4,220	177	7	2,696	9,095	30	－	1,530	－	17,772	1,262,200	300

※4月26日　チャレンジ母親クラブからのセンター利用料減免申請に伴う2階和室の貸出（営業日数に含む）

※6 月 15 日　県民の日（無料開放）　利用者 58 名

※8 月 R3 年度共通回数券精算 10,000 円（利用料に含まれていない）

※8 月 9 日　いきいき元気教室開催による休園日の開園（営業日数に含む）

※9 月 19 日　敬老の日（無料開放）　利用者 52 名

※10 月 11 日　いきいき元気教室開催による休園日の開園（営業日数に含む）

(2)　事業実施状況

ア　機能回復訓練

老化防止、健康の保持増進を目的に、器具及びヘルストロンの活用を行った。

・延べ人員　8,743 人

〔 ヘルストロン使用者 6,778 人、マッサージ器使用者 1,965 人 〕

イ　健康相談及び衛生教育

まちの保健室を開催し、医療従事者による各種測定や健康に関する相談等に対応した。また衛生教育の向上を目的として、「いきいき元気教室」を開催した。

(ｱ)　まちの保健室

・延べ実施回数　4 回

・延べ人数　92 人

(ｲ)　いきいき元気教室

・延べ実施回数　6 回

・延べ人員　154 人

ウ　自主事業

個人運動指導と健康相談を行った。

(ｱ)　個人運動指導（個人の目的に合わせた運動指導）

・延べ人員　167 人

・延べ実施回数　167 回

・適宜実施

(ｲ)　健康相談（スポーツドクターによる高齢者の健康保持に関する相談や、日常生活に関する指導）

・延べ人員　18 人

・実施回数　18 回

・実施日　　毎月第 2 火曜日　午後 13 時～14 時

エ　高齢者のクラブ活動

高齢者の生涯学習活動の一環として、10 つのクラブ活動を支援した。

講座名	会員数(人)	実施回数(回)	延べ人員(人)
囲碁・将棋・麻雀(8ｸﾗﾌﾞ)	149	380	2,560
ちぎり絵	9	20	160
俳句	3	11	32
合計	161	411	2,752

18　老人福祉センター福寿園

(1)　利用状況

・年度別利用者数

（単位：人）

年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
福寿園利用者	7，296	9,696	11,164

・開館日数　296 日

・1 日平均入場者数　37.7 人　6 月 15 日（水）、9 月 19 日（月）無料開放日：58 人

・どまんなか協定該当者１人含む。

・小学生以下含めず。

・月別内訳

区分／月別	市内		市外	身障者等	回数券利用			減免利用	団体割引	計	利用料	開館日数
	60 歳以上（人）	一般（人）	（人）	（人）	60 歳以上（人）	一般（人）	市外（人）	（人）	（人）	（人）	（円）	（日）
4	161	4	1	54	340	4	－	385	－	954	51,200	25
5	142	9	－	51	295	4	－	320	－	821	45,000	23
6	158	2	－	88	301	－	－	387	－	936	41,200	25
7	128	2	－	104	295	1	－	386	－	921	37,200	26
8	156	1	－	107	287	1	－	381	－	956	43,800	27
9	146	－	－	102	259	2	－	335	－	848	33,800	23
10	174	3	－	111	313	4	－	388	－	1,010	48,000	26
11	185	4	1	88	313	5	－	263	－	875	53,600	24
12	202	5	－	108	354	－	－	324	－	1,016	49,200	26
1	186	2	1	117	281	－	－	278	－	879	45,300	23
2	197	3	5	109	310	1	－	312	－	949	49,800	23
3	160	10	－	125	339	－	－	342	－	999	43,000	25
計	1,995	45	8	1,164	3,687	22	－	4,101	－	11,164	541,100	296

(2)　事業実施状況

ア　機能回復訓練

老化防止、健康の保持増進を目的に、器具及びヘルストロンの活用を行った。

・延べ人員　6,772 人

〔ヘルストロン使用者 4,626 人、マッサージ器使用者 2,146 人〕

イ　健康相談及び衛生教育

看護師を招き、高齢者の健康保持に関する相談や、血圧測定、日常生活に関する指導、看護と療養指導などの衛生教育と健康づくり指導を行った。

・延べ人員　1 人

・実施回数　随時

※コロナ禍で開館できない時もあったため、血圧測定や健康に対する相談を随時行った。

ウ　介護相談

高齢者の介護に関する相談や、介護保険制度等の情報提供を行った。

・延べ人員　12 人

・実施回数　随時

エ　自主事業

・ハンドトリートメント教室　12 人

・運動教室　37 人

オ　高齢者のクラブ活動

高齢者の生涯学習活動の一環として、1 つのクラブ活動を支援した。

講座名	会員数(人)	実施回数(回)	延べ人員(人)
大正琴	8	43	308

19　渡良瀬の里

利用者相互の交流と憩いの場として、福祉及び健康の増進を図り、入浴、カラオケ、グラウンドゴルフの利用できる施設として、指定管理者により運営しており利用状況等は次のとおりである。

(1)　利用状況

・年度別利用者数　（単位：人）

年　度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	5,261	8,938	15,721

・開館日数　289日

・1日平均入場者数　54人

・月別内訳

区分 / 月別	大人(一般)		回数券利用(人)	子供(人)	障がい者(人)	グラウンドゴルフ(人)	その他(人)	計(人)	開館日数(日)
	65 歳以上(人)	64 歳以下(人)							
4	435	41	228	2	70	65	50	891	25
5	518	30	208	2	83	51	38	930	24
6	596	50	260	1	93	62	46	1,108	25
7	553	57	270	16	100	57	31	1,084	26
8	502	67	281	17	87	8	21	983	24
9	500	74	353	25	94	49	26	1,121	25
10	613	81	392	20	96	64	46	1,312	25
11	756	76	432	19	91	69	34	1,477	23
12	683	110	430	19	75	35	39	1,391	22
1	812	144	477	25	131	6	43	1,638	23
2	872	155	522	18	137	58	43	1,805	22
3	817	128	486	26	124	30	370	1,981	25

計	7,657	1,013	4,339	190	1,181	554	787	15,721	289

(2)　事業実施状況（指定管理者による自主事業）

・ノルディックウォーキング教室・・・・・毎週金曜日（午前 11 時～正午）

・理想の体づくり教室・・・・・毎週水曜日（午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分）

・健康相談　　・・・・・月 1 回(毎月第 3 日曜日)

20　西方ふれあいプラザ

西方ふれあいプラザの運営管理業務を、栃木市社会福祉協議会（西方支所）に委託（指定管理）して実施した。

・年度別利用者数　（単位：人）

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
西方ふれあいプラザ利用者	1,772	1,771	1,597

・開館日数　294日

・1日平均利用者数　5.4人

・内容　趣味活動（手工芸等）、レクリエーション、入浴、足湯、カラオケなど

21　西方さくらホーム

高齢者が、自主的に社会奉仕活動や生きがい活動、健康づくり活動等を行うことを目的に事業を実施した。

・年度別利用者数　（単位:人）

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
西方さくらホーム利用者	544	418	478

・内容　手工芸教室、介護予防教室、除草、野外活動等

22　小野寺ふれあい館

小野寺ふれあい館の運営管理を実施した。

23　団体送迎事業

老人福祉センター等利用者団体送迎事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から 1 年を通して休止した。

24　生活サポーター(あったかいご員)養成講座受講者数　（単位：人）

	第1回	第2回
受講者数	新型コロナウイルス感染症の影響により中止（※）	15

※第 1 回講座については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

25　高齢者自立生活支援事業

高齢者等が地域において安定的かつ継続的に日常生活を営むことができるように、居

住の場の確保に資する情報の提供及び日常生活上の生活支援相談等を行った。本事業は、一般社団法人栃木市地域包括ケア推進ネットワークあったかネットとちぎに委託した。

・相談受付件数　（単位：件）

完結	継続中	合計
16	9	25

26　軽度生活援助員派遣事業

日常生活に支援が必要な、おおむね65歳以上のひとり暮らし又は高齢者のみの世帯で、かつ市民税非課税世帯の方に対し、軽易なサービスを提供する軽度生活援助員を派遣した。サービスの提供は公益社団法人栃木市シルバー人材センターに委託した。

・実利用者数　（単位：人）

	令和２年度	令和３年度	令和4年度
実利用者数	169	164	159

・延べ利用時間数　（単位：時間）

	令和２年度	令和３年度	令和4年度
家屋内の整頓、その他軽易な援助	1,563	1,396	1,586
草取り	2,565	2,853	2,830
植木の剪定、大工・塗装	1,536	1,794	1,587

27　高齢者配食サービス事業及び介護予防・日常生活支援総合事業（配食サービス）

在宅で生活するひとり暮らし等の高齢者に対し、健康保持と福祉の増進を図るため、昼食弁当（1食300円）を宅配し、併せて安否確認を行った。

・対象者　65歳以上のひとり暮らし又は高齢者のみの世帯、これに準ずる世帯で調理困難な方。また、令和3年度から要介護者、要支援者及び介護予防・生活支援サービス事業対象者を介護予防・日常生活支援総合事業（配食サービス）の対象とした。

・宅配人数・個数

	令和３年度		令和4年度	
事業	高齢者配食	介護予防・日常生活支援総合事業	高齢者配食	介護予防・日常生活支援総合事業
人数（人）	122	497	141	482
個数（個）	22,003	73,880	24,050	71,066

・宅配業者　（有）ききょう、（福）栃木市社会福祉協議会、（福）スイートホーム、まごころ弁当栃木中央店、（株）トレンド、（株）シニアライフクリエイト、ワタミ（株）

28　地域安心安全事業

(1)　栃木市地域見守り事業に関する協定

高齢者の日常生活の異変等を発見した際に、市へ連絡できる体制を整えるため、栃木市内で営業活動を行う民間事業者を対象に「栃木市地域見守り事業に関する協定」を締結した。

・協定締結事業所・団体数　70 事業所・団体

・協力営業所・店舗数　379 営業所・店舗

(2)　緊急医療情報カプセル配付事業

65 歳以上のひとり暮らし、高齢者のみの世帯等で希望された世帯に対し、緊急時に必要な医療情報を専用の容器（カプセル）に入れて冷蔵庫に保管しておき万が一の事態に備える緊急医療情報カプセルを配付した。

・配付数　55 個

29　成年後見制度利用促進事業

(1)　栃木市成年後見サポートセンター委託事業

高齢者が自分らしく生活するため、高齢者の人権や権利擁護に関する相談に応じる栃木市成年後見サポートセンターの運営を栃木市社会福祉協議会に委託し、成年後見制度の普及や市民後見人の養成を行った。

ア　権利擁護に関する相談業務

・新規相談件数　107件

・継続相談件数　30件

イ　成年後見制度・市民後見人啓発事業講演会

市民の成年後見制度に対する正しい理解と適切な利用促進を図るため、成年後見制度・市民後見人啓発事業講演会を開催した。

・開催日　　7 月 31 日（日）

・開催場所　とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）小ホール

・参加者数　100 人

ウ　市民後見人養成講座

身近な地域で暮らす市民が、障がいや認知症により判断能力が低下した方に寄り添った身上保護を行う、市民後見人の養成講座を開催した。

また､3 月 25 日付けで家庭裁判所から市民後見人として 1 名の方が選任を受けた。

フォローアップ研修

・開催日　　7 月 7 日、9 月 29 日、1 月 12 日、2 月 20 日

・開催場所　栃木保健福祉センター

・受講者数　14 名

30　介護予防・生活支援サービス事業

要支援1、要支援2及び事業対象者に対して、要介護状態等になることの予防又は要介護状態の悪化防止のための訪問型・通所型サービスを実施した。

・実施状況　　（単位：円）

サービスの種類	事業費額

訪問介護相当サービス	42,633,297
緩和した基準による訪問型サービス	12,273,701
その他訪問型サービス（住所地特例）	5,015
通所介護相当サービス	128,624,029
緩和した基準による通所型サービス	36,119,018

併せて、介護予防・生活支援サービス事業所の指定等を行なった。また、介護予防・生活支援サービスの適正利用に向けた事業所説明会を開催した。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催）

31　はつらつセンター事業

高齢者が要介護状態になることを予防するため、委託を受けた団体（自治会等）が、地域住民の参加と協力のもとに、家に閉じこもりがちな高齢者に集まりの場を提供し、生きがいづくりや健康で元気に生活するための様々な活動を行う事業で、その運営費の一部を助成した。

・事業実施者　自治会等
・利用対象者　栃木市内に居住するおおむね 65 歳以上の方
・実施施設　　地域の公民館、集会場、広場等
・実施内容　　趣味・生きがい活動、教養講座・健康講座の開催、高齢者スポーツ活動、地域における交流活動等
・実施状況

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
実施団体数（団体）	154	149	151
委託料（円）	19,520,000	15,795,404	17,116,000
実施回数（回）	15,729	16,575	19,659
参加延べ人数（人）	136,589	145,656	169,955

32　いきいきサロン事業

自宅に閉じこもりがちな高齢者の社会参加を促すことで介護状態になることを予防することを目的に、個人宅等の身近な場所で、お茶やおしゃべりを楽しめる居場所を提供するサロン開設者に対し運営費等の一部を補助した。

・実施状況

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
事業実施箇所数（箇所）	151	152	150
補助金額（円）	3,770,000	3,563,365	3,661,633

33　成年後見制度利用支援事業

(1)　審判の申立てに関する支援（市長申立）

認知症等により判断能力が十分でない高齢者について、老人福祉法第 32 条に基づき、後見開始の審判等の申立てを行った。

・申立件数　6件（後見開始4件、保佐開始1件、本人死亡による申立取消1件）

(2)　後見人等報酬助成

成年被後見人等の生活状況から、後見人等の業務に対する報酬が支払えない場合に、報酬の全部又は一部を助成した。

・助成件数　2件

・助成額　　480,000円

34　認知症総合支援事業

(1)　認知症ケアパス作成

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、市民向けに情報を整理し、認知症の進行や状態に合わせて受けられる、医療・介護・福祉サービス等を示した冊子「認知症あんしんガイド」を作成し、関係機関に配布した。

(2)　市民特別講座（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

認知症への理解を促進し、地域で見守り支え合う体制づくりの基礎とするため、市民公開講座を企画した。

・開催予定日　　9月24日（土）　（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

(3)　安心見守りカプセル配付事業

栃木市内に住所があり、認知症の症状を有し徘徊又は徘徊の恐れのある方に対し、救急時に必要な情報を携帯できるネックレス型及びキーホルダー型の安心見守りカプセルを配付した。

・配付数　14セット（総配付数　229セット）

(4)　認知症カフェ登録事業

高齢化とともに認知症高齢者が増加している中、認知症になっても住み慣れた地域で自立した生活ができるよう仲間づくりや生きがい支援、介護する家族の負担軽減等、認知症の人とその家族を支える地域づくりを進めるため、認知症カフェを開設する団体に対し登録を行った。

・認知症カフェ登録団体　7団体（認知症カフェ八州苑、オレンジカフェ星風会おおひら、とちぎ・すけっとカフェ、ふれんどカフェ、おのでらカフェ、星風会つがカフェ、ふれあいコープカフェ）

35　地域包括ケア推進会議

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう保健、医療、介護サービス、福祉等の各分野の関係機関及び団体の代表者で構成する地域包括ケア推進会議を開催し、個別ケア会議により把握した地域課題への対応をはじめ、地域包括ケアシステムの構築に関する協議検討を行った。

・開催回数　2回（7月19日、2月21日）

36　在宅医療・介護連携推進事業

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護が一体的に提供できる体制

を構築するため、在宅医療・介護連携推進会議において在宅主治医・在宅協力医体制の構築や在宅医療・介護の専門職の連携ルールを検討した。

また、市民への在宅医療・介護の普及啓発のための講演会や多職種の顔の見える関係を構築するための多職種研修会の開催及び医療・介護・地域資源総合検索サイトの運用を行った。

(1) 在宅医療・介護連携推進会議

・開催回数　6 回

・開催場所　下都賀郡市医師会　会議室

・委員数　23 名（医師、歯科医師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、訪問看護師、訪問介護員、介護支援専門員、地域包括支援センター職員）

・主な検討事項　在宅主治医・在宅協力医体制の構築
在宅医療・介護の専門職の連携ルールの検討
市民向け講演会（シンポジウム）及び多職種研修会の企画・開催

(2) 栃木市在宅医療・介護連携推進事業シンポジウム

在宅での医療・介護連携の実例を基に、市民への在宅医療・介護の普及啓発を図るため、医療・介護の専門職をパネリストとしたシンポジウムを開催した。

・開催日　2 月 26 日（日）

・テーマ　栃木市の在宅医療について
～住み慣れた家や地域で暮らし続けるために～

・参加者数　200 人

(3) 在宅医療・介護連携のための多職種研修会（あじさいの会）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、動画配信により実施した。

・配信日　①11 月 11 日（金）　②2 月 28 日(月)

・研修テーマ　①摂食嚥下の仕組み　～安全に食べるためには～
②在宅における栄養管理
～在宅や施設において簡単で取り入れやすい栄養管理～

・延べ視聴者数　①130 人　②220 人

(4) 医療・介護・地域資源総合検索サイト

市民が市内の医療機関・介護サービス事業所等の情報を手軽に検索できるようにするとともに、関係者間の情報共有及び連携強化を図るため、医療・介護・地域資源総合検索サイトを構築し、医療機関・介護サービス事業所等の情報掲載のほか、多職種研修会の動画配信等を実施した。

37　地域包括ケアシステム講座

栃木市全体での地域包括ケアシステムの構築を推進するため、市民を対象とした出前講座を実施し地域包括ケアシステムの普及啓発を図った。

・開催回数　5 回

・延べ参加人数　71 人

38　生活支援体制整備事業

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、生活支援コーディネーターを配置し、地域住民やボランティア、NPO 団体など様々な主体による多様な取組が利用できる地域づくりを推進した。

・生活支援コーディネーター配置人数

（第 1 層）1 人（市内全域）

（第 2 層）7 人（①②栃木地域、③大平地域、④藤岡地域、⑤都賀地域、⑥西方地域、⑦岩舟地域）

39　緊急対策介護事業所職員 PCR 検査

市内の通所・訪問介護サービス事業所における新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、職員を対象に PCR 検査を実施した。

・対象施設　通所・訪問介護サービス実施事業所

・対象者　　常時従業者（介護職員、事務員、調理員等）

・検査実績

【1 次検査（プール方式）】

検査期間	検査数			検査結果
①6 月 6 日～6 月 14 日	90 事業所	937 人	237 検体	全て陰性
②10 月 17 日～10 月 26 日	75 事業所	691 人	180 検体	全て陰性
③2 月 13 日～2 月 20 日	62 事業所	459 人	129 検体	1 検体 3 人分が陽性
合計	227 事業所	2,087 人	546 検体	

【2 次検査（個別検査）】

2 月 16 日	1 事業所	2 人		2 人とも陰性

※　2 次検査対象者 3 人のうち 1 人は、陽性に伴う 10 日間の療養期間を経た後の本件検査で陽性反応が出たものと推測されたため、2 次検査実施は 2 人となった。

40　一般介護予防事業

65 歳以上の高齢者を対象に、介護予防に関する知識の普及啓発を実施した。

(1)　介護予防普及啓発事業

ア　運動器機能向上教室

（皆川・寺尾）しゃっきりシニア教室

イ　複合型（運動・栄養・口腔機能向上・認知症予防教室）

（栃木中央）健康寿命のびのび教室

（吹上）元気アップ教室

（大平）口腔ケア・脳トレ・筋トレでフレイル予防

（藤岡）フレッシュ・シニア教室（都賀）さわやか健康教室

（西方）フレイル予防教室（岩舟）こすもす教室

ウ　出前講座

「今日からさっそく介護予防」「認知症サポーター養成講座」

「高齢者向け筋力運動　あったかとちぎ体操」

エ　その他

・地区社会福祉協議会との連携事業、公民館との共催事業、老人福祉センターとの共催事業等

・ふれあい通信掲載による介護予防、認知症の理解等に関する普及啓発（ふれあい相談員の協力を得て独居及び高齢者世帯へ配布）

（令和 4 年 11 月～12 月配布 40 号）認知症予防について

認知機能チェック・もの忘れ相談のご案内

（令和 5 年 1 月～2 月配布 43 号）フレイル予防について

フレイルチェック・フレイル予防のポイントについて

オ　実施状況

	栃木中央		吹上		国府		大平	
	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）
運動器機能向上	－	－	－	－	－	－	－	－
複合型	12	166	13	163	4	11	16	132
出前講座（介護予防）	－	－	－	－	－	－	－	－
その他	2	103	13	221	18	396	2	100

	藤岡		都賀		西方		岩舟		合計	
	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）
運動器機能向上	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
複合型	3	45	12	80	7	112	4	76	71	785
出前講座（介護予防）	－	－	1	16	－	－	5	162	6	178
その他	6	99	－	－	7	94	8	106	56	1,119

(2)　地域介護予防活動支援事業

高齢者の身近な地域で住民が主体的に介護予防に取り組んでいけるよう、地域活動の支援を目的とした介護予防事業を実施した。

ア　複合型教室

（栃木中央）元気もりもり教室

（大宮）はつらつ元気教室

（大平）シニアのための介護予防、シニア健康応援講座

（都賀）シニアのための介護予防教室

（西方）フレイル予防教室

イ　地区組織活動支援

（国府）いきいきサロン・南部サロン（多世代型交流サロン）

（大宮）大宮あったかサロン

（大平）栃木県シルバー大学校南校大平支部への高齢者保健事業紹介

（藤岡）はつらつセンター・いきいきサロン活動支援、地域座談会

（都賀）はつらつセンター・いきいきサロン・ボランティア団体への出前講座

（西方）はつらつセンター・ふれあいプラザ

（岩舟）はつらつセンターへの出前講座

地域活動学習への協力、軽体操、熱中症予防指導、健康情報提供等を実施した。

・実施回数　42 回

・活動支援数（延人数）　623 人

ウ　自主グループ活動支援

（吹上）ひまわり会（藤岡）なのはなクラブ・チームはつらつ

（西方）元気アップ体操・ヨガサークル・さくらホーム

自主グループに対し、相談等活動を支援した。

・実施回数　22 回

・活動支援数（延人数）　193 人

エ　ますます元気サポーター活動支援

地域において活動する介護予防ボランティアを養成するとともに、市全域で活動支援を行った。また、情報交換及びサポーターのスキルアップを目的とした地区別研修会を開催した。

・サポーター活動数（実人数）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟	計
サポーター数(人)	15	13	17	46	13	18	4	40	166

・サポーター活動状況

実施回数　2,237 回　　活動数（延人数）2,098 人

・サポーター活動支援

実施回数　66 回　　活動支援数（延人数）529 人

・ますます元気サポーター養成講座（参加状況）

	回数(回)	延人数（人）
基礎講座	2	36
スキルアップ講座	7	104

オ　あったかとちぎ体操

地域住民が主体となって取り組むことができる「あったかとちぎ体操」の普及啓発を行うとともに、実施希望団体に対して継続して実施できるよう体操運営協力を行った。

・実施団体　93 団体

・実施状況

	回数（回）	実人数(人)	延人数(人)
あったかとちぎ体操 出前講座	16	－	235
あったかとちぎ体操 団体活動状況	2,876	1,048	28,177
あったかとちぎ体操 団体活動支援	274	－	2,711

カ　脳活教室

認知症を予防するための正しい知識を認識し、予防に有効とされる日常生活における取組ができるよう支援し、認知症への移行や要介護状態への進行防止を図るこ

とを目的に教室を開催した。「運動」「栄養」「口腔」の指導の他、新たに作業療法士によるレクリエーションを組み合わせて参加者の行動変容を促すプログラムとした。更に課題、日記、記憶 BOX、脳活性化ゲームにより、記憶力・遂行力・判断力・計算力・言語力を総合的に鍛える内容を実施した。

・会場

北部会場　キョクトウとちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）

南部会場　静和地区公民館

・実施回数　16 回

・参加者数（延人数）　北部会場　110 人　南部会場　100 人

キ　脳活ステップアップ講座

・会場

北部会場　キョクトウとちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）

南部会場　ふるさとふれあい館

・実施回数　2 回

・参加者数（延人数）　北部会場　12 人　南部会場　7 人

41　介護予防ケアマネジメント事業

要支援者等が、可能な限り地域において自立した日常生活ができるよう支援した。

・総合事業による介護予防ケアマネジメント作成状況　（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟	計
事業者委託	1,886	567	546	655	403	395	53	513	5,018
地域包括支援センター作成	488	47	10	77	55	9	10	24	720
計	2,374	614	556	732	458	404	63	537	5,738

・要支援 1・2 の介護予防サービス計画作成状況　（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟	計
事業者委託	2,292	727	716	1,352	869	437	148	1,274	7,815
地域包括支援センター作成	202	10	50	52	59	21	8	61	463
計	2,494	737	766	1,404	928	458	156	1,335	8,278

・相談業務実施状況　（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟	計
申請時相談	216	59	83	130	439	233	84	503	1,747
契約等訪問	135	44	46	70	61	69	16	63	504
モニタリング訪問	300	50	53	102	69	68	9	51	702
ケアマネ支援	195	228	56	179	119	142	152	39	1,110

・サービス担当者会議実施状況　（単位：回）

	栃木	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟	計

	中央								
地域包括支援センター主催及び委託事業所実施への参加	328	83	98	161	79	88	28	57	922

・住宅改修・福祉用具購入理由書作成状況　（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟	計
福祉用具	6	－	－	－	1	7	－	1	15
住宅改修	26	4	9	5	7	8	－	10	69

42　総合相談支援事業

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、関係者との連携に努めながら、高齢者の心身状況や生活実態を把握し相談支援を行った。

・実施状況　（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟	計
面接	702	125	186	1,001	464	450	314	479	3,721
電話	1,432	879	736	1,100	703	923	575	727	7,075
家庭訪問	926	228	278	456	169	343	55	211	2,666
計	3,060	1,232	1,200	2,557	1,336	1,716	944	1,417	13,462

・認知症相談状況（総合相談支援事業からの再掲）　（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟	計
認知症に関すること	528	326	358	366	72	220	436	89	2,395

総合相談の内訳として認知症に関する内容が一番多い。

43　権利擁護事業

地域住民、民生委員、介護支援専門員等の支援だけでは問題解決できない状況にある高齢者に対し、尊厳ある生活ができるよう権利擁護のための専門的・継続的な支援を行い、成年後見制度の活用促進、消費者被害の防止、老人福祉施設等への措置の支援、高齢者虐待への対応、困難事例への対応等を行った。

・実施状況（総合相談支援事業からの再掲）　（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟	計
権利擁護に関すること	129	67	45	178	43	15	－	12	489
高齢者虐待に関すること	23	52	9	24	56	37	7	3	211
消費者被害に関すること	4	6	－	22	3	－	－	－	35

介護家族者離職防止に関すること	－	－	－	－	－	－	－	－	－

・虐待ケース会議実施状況　（単位：件）

		栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟	計
虐待ケース会議	実件数	5	4	1	3	3	3	－	－	19
	延件数	14	8	3	3	7	6	－	－	41
会議内訳（複数項目有）	身体	12	2	1	3	2	2	－	－	22
	放棄	－	1	－	－	1	－	－	－	2
	心理	3	1	－	2	－	2	－	－	8
	経済	2	1	－	－	－	－	－	－	3
	その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－

44　包括的継続的ケアマネジメント支援事業

(1)　地域における多職種の連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行った。

・介護支援専門員事例検討会開催状況（各地域包括支援センター）

事例検討会　6回　参加者数　79人

・連携会議開催状況　（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟	計
民生委員との連携	96	31	61	80	26	85	47	15	441
関係機関との連携	498	70	168	508	372	232	158	153	2,159
ケース検討個別ケア会議	13	4	1	－	1	1	－	－	20
日常生活圏域個別ケア会議	6	5	6	6	3	1	1	51	79

(2)　生活援助ケア会議

生活援助の回数の多いケアプランとして届出のあったものを、生活援助ケア会議に付議し、多職種で自立支援・重度化防止に向けた検討・助言等を行った。

会議開催回数　2回(2件)

【構成員】

・助言者：薬剤師、リハビリ専門職、管理栄養士、栃木市社会福祉協議会

・事例提供者：居宅介護支援事業所介護支援専門員、介護サービス提供事業者

・参加者：介護保険係・地域包括支援センター担当者等

(3)　自立支援検討会議

高齢者の自立支援・介護予防の観点を踏まえて、要支援者等の生活行為の課題の解決等、状態の改善を導き自立を促すとともに生活の質(QOL)の向上を目指すため、多職

種で検討・助言等を行った。

・実施状況

北部会場(栃木市役所)　12 回(23 件)　南部会場(大平総合支所)　7 回(14 件)

【構成員】

・助言者：医師、歯科医師、歯科衛生士、薬剤師、リハビリ専門職、管理栄養士、栃木市社会福祉協議会

・事例提供者：居宅介護支援事業所介護支援専門員、地域包括支援センターケアプラン作成担当者、介護サービス提供事業者

・参加者：地域包括支援センター担当者等

45　認知症サポーター養成講座

認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職域において認知症の人や家族を支援する認知症サポーターを養成し､認知症となっても安心して暮らせる地域づくりを推進した。

・実施状況（市全体）

対　象	回数	参加数(人)	内　訳
市職員	1	30	新採用職員研修
一般市民	4	71	あったかとちぎ・みんなのつどい
	2	28	脳活教室
計	7	129	

・実施状況（各地域）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟	計
回数（回）	15	8	7	8	2	2	2	4	48
参加人数(人)	346	137	96	104	34	43	18	61	839

46　あったかとちぎ・みんなのつどい

市全域で実施する認知症の取組として、認知症サポーター養成講座、家族介護者等の交流、もの忘れ相談と組み合わせ「あったかとちぎ・みんなのつどい」を開催した。

・開催日時・会場

会　　場	1 回目	2 回目
栃木会場：栃木保健福祉センター	9 月 6 日	9 月 20 日
大平会場：ふるさとふれあい館	11 月 8 日	11 月 15 日
西方会場：北部健康福祉センター	12 月 9 日	12 月 16 日
岩舟会場：岩舟公民館	1 月 12 日	1 月 19 日
藤岡会場：藤岡公民館	中止	中止

※藤岡会場は、参加申込者が少なかったため中止

・参加者数　1 回目：71 人　2 回目：62 人

・参加者内訳：認知症本人 9 人、家族 18 人、民生委員等 15 人、施設職員 11 人、ボランティア 1 人、一般参加者 34 人

47　認知症初期集中支援推進事業

(1)　もの忘れ相談事業

毎月第 2 金曜日に、専門職員による認知症相談窓口の設置及び認知症に関する普及啓発等を行うもの忘れ相談事業を実施した。

(2)　認知症初期集中支援事業

認知症の人や疑いのある人及びその家族の初期支援を行う認知症初期集中支援専門員として、保健師・看護師を配置し、支援対象者の状態に合わせた医療・介護サービスの適切な利用に向けて包括的・集中的に支援した。

・相談受理状況　（単位：件）

総相談件数			175
	継続支援件数		133
		初期集中支援チーム（認知症サポート医と専門員）の支援	－
		専門員（保健師・看護師）のみの支援	133
	単発相談件数		42

48　地域自立支援事業（24 時間通報体制）

高齢者のいる世帯の家庭内事故等による通報に随時対応するため、地域包括支援センターの夜間等の対応について、市内の医療法人及び社会福祉法人に相談業務を委託した。

・実施状況　（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟	計
委託対応	99	12	52	36	－	21	12	13	245
(内数) 地域包括支援センター対応	16	7	2	16	－	－	3	3	47

49　認知症にやさしいまちづくり事業

認知症の本人又はその家族が住み慣れた地域で安心・安全に生活することのできる環境を整備することを目的に、「認知症にやさしいまち・栃木市」の実現に向けた施策を実施した。

(1)　認知症高齢者等ＳＯＳネットワーク

認知症高齢者等が行方不明になった際に、市、警察、協力事業所、自治会、民生委員等登録協力機関に対し、メール等で捜索の協力を依頼した。

令和 5 年 2 月から、システムを利用し、アプリ又はメールで捜査の協力を依頼した。

ア　使用システム　メール連絡網

イ　認知症高齢者等ＳＯＳネットワーク協力機関登録件数（単位：件）

登　　録	アプリ	メール	合計
栃木地域	126	31	157
大平地域	27	11	38
藤岡地域	22	3	25
都賀地域	20	3	23
西方地域	6	2	8
岩舟地域	25	4	29
合計	226	54	280

(2)　見守りシール

対象者の安否情報等をインターネット上で共有し、対象者の身元確認や家族への引渡しを円滑に行うため、ＱＲコードが印刷された見守りシールを交付した。

・見守りシール交付者数　（単位：人）

地域	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟	合計
R4 交付者数	19	9	1	5	0	4	38
交付者累計	40	20	4	7	1	5	77

(3)　認知症高齢者等個人賠償責任保険

認知症高齢者等が日常生活における偶然の事故により法律上の損害賠償責任を負った場合に、これを補償する個人賠償責任保険に市が契約者となって加入した。

・個人賠償責任保険加入者数　（単位：人）

地域	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟	合計
加入者数	24	9	3	5	1	3	45

※保険金の支払実績なし